

単元名

「FOR THE NEXT STEP」

～挑戦問題 みんなによるみんなのための道探し～

本単元で育成する資質・能力

情報収集能力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 感謝・貢献 責任感・使命感

1 対象 第3学年 男子6名 女子15名 計21名

2 単元で目指す学ぶ姿

よりよい生き方探しに向け仲間と協働して情報収集、整理・分析することを通して、進路に対する視野を広げるとともに、得られた情報を保護者やクラスメートへ発信するためのプレゼンテーションやスピーチを通して、各自の進路選択に向けての自立的な態度と支援環境を向上させる姿。

<単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

	資質・能力	評価	評価基準
技能・知識	進路に係る知識・技能	S	中学卒業後の進路について調べたり学んだりしたことを、誇りと自信を持って、人に伝えることができる。
		A	中学卒業後の進路について調べたり学んだりしたことの良さを人に伝えることができる。
		B	中学卒業後の進路について調べたり学んだりしたことを人に伝えることができる。
		C	中学卒業後の進路について調べたり学んだりしたことを人に説明することができない。
問題解決の能力 な 実社会における横断的・総合的	情報収集	S	高校説明会を聞いて、様々な学校の特徴を、資料だけではわからなかったことも、情報収集できる。
		A	知りたいことをパソコンで調べたりして、必要な情報を収集することができる。
		B	進路に関する資料をみて、関係ありそうなものを見付けることができる。
		C	尋ねたり、調べたり、試したりすることができない。
	判断	S	相手を意識して、保護者への高校説明会でのプレゼンを考え、自分のことばと資料で表現することができる。
		A	調べた内容に、保護者への高校説明会でのプレゼンを考え、自分のことばで表現することができる。
		B	調べた内容はしっかり、表現することができる。
		C	保護者への高校説明会でのプレゼンで、表現することができない。
思考 表現	S	中学卒業後の自分の進路を大切に、新しい自分を創り出すことができる。	
	A	中学卒業後の自分の進路を大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。	
	B	中学卒業後の自分の進路を大切に、学び続けようと努力することができる。	
	C	中学卒業後の自分の進路をあきらめている。	
実社会における横断的・総合的な問題解決に取り組む態度	挑戦 探究	S	自分が担当した進路について役割や使命を考え、生き方の目標を見付け出すことができる。
		A	自分が担当した進路について役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。
		B	自分が担当した進路について役割や使命を理解し、果たそうと努力することができる。
		C	自分が担当した進路について役割や使命を理解していない。
	責任 使命	S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして保護者への進路説明会を成功させることができる。
		A	他の人と協力し、いろいろな意見を取り入れることができる。
		B	他の人と協力しようと努力することができる。
		C	他の人と協力しようとしていない。
	協力 協働	S	この単元の活動を通して、自分たちの進路への支援環境が向上することに貢献し、周囲に感謝する気持ちを持ち、仲間や家族との絆を深めることができる。
		A	この単元の活動を通して自分の進路への支援環境が向上したことに、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。
		B	この単元の活動を通して自分の進路への支援環境が向上したことに、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようと努力することができる。
		C	感謝の気持ちを持っていない。
感謝 貢献	S	この単元の活動を通して、自分たちの進路への支援環境が向上することに貢献し、周囲に感謝する気持ちを持ち、仲間や家族との絆を深めることができる。	
	A	この単元の活動を通して自分の進路への支援環境が向上したことに、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。	
	B	この単元の活動を通して自分の進路への支援環境が向上したことに、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようと努力することができる。	
	C	感謝の気持ちを持っていない。	

3 単元設定の理由

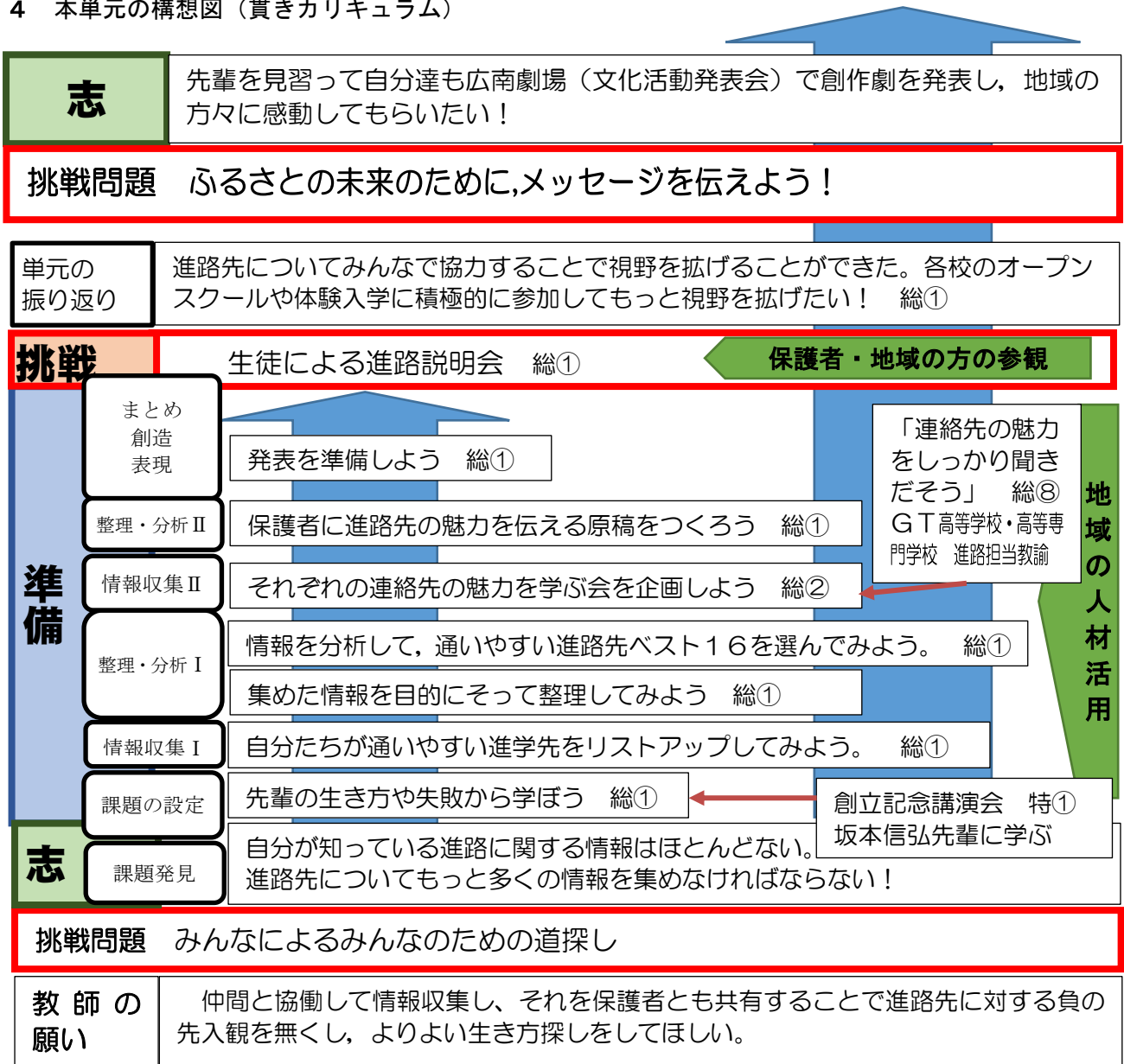
本単元では、自己の将来にわたって、生徒が自立的な、よりよい生き方探しをすることが目的である。しかし、人口減少社会を迎えた今日、生徒数確保に向け、私立高等学校だけでなく、公立高校学校等も、より魅力のある学校への改革に真剣に取り組んでいる。その変化の時代において、生徒が自立的な生き方探しを行うにあたって阻害要因として働くのが、先入観である。特に、負の先入観を排除できる支援的環境を自分たちの力でつくらせることが肝要である。

支援的環境とは、一つに、個人にとどまらず、仲間の進路選択の対象となる進路先について視野を広げ、進路先の情報を共有させることで、相互にアドバイスできる環境を学級につくることである。とりわけ、それぞれの進路先の魅力について共通理解することは、それぞれの進路選択を肯定的に受け止め、お互いが胸を張ってそれぞれの進路実現へむけて努力する学級の雰囲気をつくる上で大切な要素である。このため、本単元では、実際に各校の先生の方々から熱い思いを全員で受け止める機会を持つことを情報収集の主な手段とした。

また、自立的な進路選択の上で、家族、とりわけ、保護者と情報を共有することも重要な要素であり、そのことも自分たちの取り組むべき課題であることに気づかせ、土曜参観日での「進路説明会」では、その課題解決の方策として、生徒自身に、各校から受け止めたその学校の魅力を中心に、保護者へ伝える取り組みを行わせたい。

さらに、それらを基盤とすることで、主体的な情報収集への意欲を高め、オープンスクール等へ積極的に参加するとともに、クラスメートや家族と情報交換を行わせる学級指導や活動を継続することで、自立的な進路選択へむけての支援環境が充実していくものとする。

4 本単元の構想図（貫きカリキュラム）



5 本単元の指導計画（総授業時間数 18時間）

時数	学習活動	・指導上の留意点 ★評価規準（○は「指導に生かすための評価、●は「記録するための評価」）（評価方法）
1	<p>課題の設定</p> <p>STEP 1 先輩たちの失敗から学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩の失敗談を読み、進路先を選ぶ上で、失敗しないために必要なことを考え、話し合う。 進路先クイズを通して、自分のもつ進路先情報の少なさを実感する。 次の2つのことが課題であることに気付く。 <p>挑戦課題 みんなによるみんなのための道探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ルーブリックでこの単元でつける資質・能力を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> この話は実話ではないが、先輩たちの実際の失敗談でつくられたものであることを押さえる。 自分達の力で自分たちに必要な進路情報を収集し、共有した仲間づくり、家族づくりが大切であることに気付かせる。 先生から一方的に情報をもらうのではなく、自分たちで必要な情報を収集して問題解決をしていく力をつけることが目的であることを押さえる。
1	<p>情報収集 I</p> <p>STEP 2 自分たちが通いやすい進路先をリストアップしてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から通えそうな学校をリストアップする。 それぞれが情報集める進路先の分担を決める。 どんな情報を集める必要があるか、考える。 通学時間・手段と必要経費の2つの要素があることに気付く。 必要な情報を収集する手段を考える。 高校の要項。インターネット、先輩に聞く。高校に電話する。 必要な情報を実際に集め、メモにまとめる。 	<p>★【情報収集・判断】</p> <p>○課題解決に向け、必要な情報に気付き、収集することができる。（ワークシート）</p>
1	<p>整理・分析 I</p> <p>STEP 3 集めた情報を目的にそって整理してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学時間や必要経費を比較するための条件設定を行う。 整理に問題がないか、相互点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不足している情報に気付いたら、再度情報収集させる。

1	<p>STEP 4 情報を分析して、通いやすい進路先ベスト16を選んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた情報をもとに、通学時間と、必要経費の2つの視点からマッピングする。 ・マッピング結果を分析し、それぞれで通いやすいベスト16を選ぶ。 ・それぞれが選んだベスト16を交流しあい、それぞれの価値観の違いにより順位がちがってくることに気付かせる。 <p>(問題提起) 「通いやすさだけで進路を決めるべきだろうか？」を受け、進路選択に必要な他の情報とは何か、その情報はどうやって集めることができるか考える。</p>	<p>★【思考・表現】</p> <p>○収集した情報を整理・分析し、マッピングを使っ て的確に表現できる。(教師観察)</p>
1	<p>情報収集Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や志を、キャリアノートをみながら確認する。 ・前時の振り返りで出た意見の中から「高校説明会」および保護者への進路情報トークを企画することを決める。 <p>STEP 5 それぞれの進路先の魅力を学ぶ会を企画しよう (企画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチする進路先のリストアップ(16高校) ・各校への説明会の依頼文を分担して作成する。 ・会の司会および各校の先生のおもてなし分担および方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「通いやすさだけで進路を決めるべきだろうか？」を問題提起し、通いやすさより、自分にとって魅力のある学校であるかどうかが大 切であることに気付かせる。 ・礼節を大切に自分たちの良さを使える機会にもなることに気付かせる。 ・情報収集した内容をしっかり整理するとともに、家族にも伝える機会をもつことで家族と情報を共有することができることへの見通しを持たせる。
1	<p>STEP 6 情報収集力を高めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の先生からより深く必要な情報を収集するには、どうしたらよいか考える。 ・各校の先生への質問を考える。 	

8	<p>STEP 7 進路先の魅力をしっかり聞き出そう！ (実行) 『それぞれの進路先の魅力を学ぶ会』 (目的) 「広南の礼節と進路を真剣に考えている自分たちの姿を伝えよう」 「保護者に伝えるためにしっかりメモをとりながら聞こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼節を意識した聞き方を実践する。 ・メモをとりながら話を聞く。 ・的確な質問を行い、深い情報を引き出す試みをする。 <p>1日目 4校 2日目 4校 3日目 4校 4日目 4校</p>	<p>★【挑戦・探究】 ○情報を再現するための的確なメモが取りながら話を聞くことができる。(生徒のメモ)</p> <p>★【情報収集・判断】 ○情報を引き出すための的確な質問ができる。(教師観察)</p>
1	<p>整理・分析Ⅱ</p> <p>STEP 8 保護者に進路先の魅力を伝える原稿をつくろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・家族と情報を共有することの大切さを再確認する。 ・メモや講師から提供を受けたプレゼン資料をもとに、発表原稿の作成を指導のポイントにそって行う。 ・発表の練習と手直しを発表のポイントにそって行う。 	<p><原稿作成の指導のポイント>と<発表の方法の指導のポイント>を指導する。</p>
1	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>STEP 9 発表を準備しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した原稿をもとにパワーポイントを編集する。 ・発表のポイントにそって、効果的なプレゼンになるようにする。 	<p>★【思考・判断】 ○自分たちが情報収集したことを整理・分析し進路先の魅力を工夫して表現できる。(原稿・評価シート)</p>
1	<p>STEP 10 保護者の方に進路先の魅力を伝えよう！ 「生徒による進路説明会」開催(土曜参観日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが担当した高校の魅力を、プレゼン等も活用しながら保護者へ伝える。 ・お互いの発表を評価シートで相互評価させる。 	<p>★【協力・協働】 ○お互いの発表を真剣な態度で聞き、肯定的な評価を行うことができる。(評価シート・教師観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭への情報提供は、各家庭で、これからも継続する必要性を伝える。

新たな課題の設定

STEP 1 1

進路情報はこれで十分か？

- ・進路クイズを再び行い、今回の取組でどれだけ視野が広がったか、家族や友達とどれだけ情報が共有できるようになったかを確認する。また、進路先についてもっと調べたいことなどを自由に書く。
- ・「百聞は一見にしかず」オープンスクールへ積極的に参加することの大切さを確認する。
- ・7月以降、各進路先で開催されるオープンスクール等で得られた情報はどのようにして共有するか話し合う。
(方策を立てる)
 - ・ 報告書の作成
 - ・ 一分間スピーチ等で報告しあう
 - ・ 進路通信で保護者にも伝えていく。(実行する)
(振り返る)
- ・ルーブリックでこの単元でつける資質・能力について自己評価する。

★【感謝・貢献】

★【責任・使命】

○これから、自分が進路に向けてどのように取り組んでいくかを考え、自分の生活を振り返っている。

★【挑戦・探究】

○仲間や家族にオープンスクールで学んだことを主体的に報告できる。(報告書・一分間スピーチ)

- ・生徒の評価に教師の評価を加える。

6 本時の学習（1時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 読み物資料を通して、進路選択において、どのようなことが失敗につながるかを考えるとともに、よりよい進路選択をするために挑戦課題「みんなによるみんなのための進路学習」を行うことへの意欲を高める。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。 ・プリントを取りに行く。</p> <p>・「プロローグ」を読み、友人Aが進路選択に失敗した理由を予想する。 ・ワークシートに書く。 ・発表する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との人間関係 ・考えていたような学校ではなかった </div>	
<p>めあて STEP1「先輩たちの失敗から学ぼう」</p>		
<p>3 よりよい進路選択をおこなうためには、どんなことが必要か考える。 ・プリントを取りに行く。 ・「先輩たちの失敗例」を読み、失敗の原因を考え、ワークシートに書く。 ・発表し、交流し合う。 ・ワークシートの進路先クイズの問題に挑戦してみる。</p> <p>・挑戦問題を知る。 ・ループリックでこの単元で身に付ける力を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩の失敗談から、進路先決定にむけて、しっかりした情報収集、また情報を友達や家族ともしっかり共有して、ささえあう学級づくりが大切であることに気付かせる。 ・答え合わせはしない。自分が情報を持っていないことに気付かせればよい。 ・本単元の最後に、進路先クイズはもう一度行うことで、学習の成果を確認させる。 ・この話は実話ではないが、先輩たちの実際の失敗談でつくられたものであることを押さえる。 	
<p>挑戦問題「みんなによるみんなのための進路学習」</p>		
<p>4 ワークシートに振り返りを書く。 ・わかったことと、新たに疑問に思ったことなどをワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生から一方的に情報をもらうのではなく、自分たちで必要な情報を収集して問題解決をしていく力をつけることが目的であることを押さえる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の気付き例</p> <p>自分は、今のままでは、この先輩たちと同じ失敗をしようと思った。また進路選択について自分に必要な情報だけを得るだけではだめだと気付いた。友達や家族ともしっかり共有できるような進路学習を自分たちで力を合わせてつくっていきたい。</p> <p>自分の行きたい学校はあるけど、行ったことがない。どれくらい時間がかかるか心配になってきた。</p> </div>	

7 本時の学習（2時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 進路先を「通いやすさ」という条件のもとに情報収集する方法を考えることを通して、目的に応じて必要な情報を収集する能力を高める。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP2)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>取り上げる生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の行きたい学校はあるけど、行ったことがない。どれくらい時間がかかるか心配になってきた。 </div> <p>クイズ</p> <p>「広南中から通いやすい高等学校等ベスト5は？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料をみせないで予想させる。 	
<p>めあて STEP2「自分たちが通いやすい進路先をリストアップしてみよう」</p>		
<p>3 地図を見て、県内の学校から通えそうな学校をリストアップする。</p> <p>4 「通いやすさ」を知るには、どんな情報を集める必要があるか話し合う。</p> <p>5 それぞれが調べる学校の分担を決める。</p> <p>6 情報収集する手段を話し合う。</p> <p>7 ワークシートに振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> わかったことと、新たに疑問に思ったことなどをワークシートに書く。 <p>8 予習課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの分担について必要な情報を調べてくることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校名が記載されている地図をみながら考えさせる。(寮のある学校もわかるようにしておく) 「通いやすさ」とは何か？について提起する。 通学時間（交通手段） 必要経費（交通費・授業料） 寮がある学校はどう考えればよいだろう？ →寮費を交通費と考えればよいことに気付かせる。 生徒数分（22校）の学校に絞り込む ◆ワークシートをみながら、必要に応じて班で協力し合ったり、個別支援を行う。 <p>生徒の気づき例</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 通学時間といっても人によって歩く速さが違うし、比較するには、基準が必要ではないか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> 全員が共通に調べること。(通学時間、通学費用) 	

8 本時の学習（3時間目／全18時間）

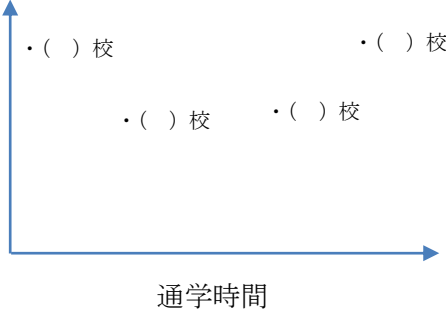
(1) 本時の目標 集めた情報を比較するために必要な条件設定を行って整理することができる。
 (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP 3)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>取り上げる生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学時間といっても人によって歩く速さが違うし、比較するには、基準が必要ではないか？ 	
<p>めあて STEP 3 「集めた情報を目的にそって整理してみよう」</p>		
<p>3 自分の分担した学校について調べたことを整理する。</p> <p>4 調べた結果をワークシートにまとめ、班の仲間と間違いないか点検し合う。</p> <p>5 ワークシートに振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> わかったことと、新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の内容を全体で確認する。 <p><通学時間について></p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の算出は、広南中学校を出発して、その学校の正門までとすること。 (始業時間10分前に正門につく) 複数の方法がある時（自転車とバスなど）は、両方、計算すること。 時間は以下の方法で計算すること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ✓徒歩の場合は分速80m ✓自転車は時速20km ✓バスやJRは時刻表 ※乗り換えの待ち時間も考慮に入れること </div> <p><学費について></p> <ul style="list-style-type: none"> 代表的な私立・公立・国立の受験してから卒業までかかるお金の総額を月割りで計算すること。 奨学金や特待はないものとして計算すること。 通学費は、学割で計算すること。 <ul style="list-style-type: none"> ◆問題点があれば、指摘し、再調査をうながす。支援が必要と判断した場合には、助言する。 ◆不足している情報に気付いたら、再度情報収集させる。 ◆集められていない生徒については、個別支援を行う。 <p>生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の人が調べた学校と早く比べてみたい。 	<p>★①課題解決に向け、必要な情報に気づき、収集することができる。(ワークシート)</p>

9 本時の学習（4時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 情報を2つの視点から複合的に分析することができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP4)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>取り上げる生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の人が調べた学校と早く比べてみたい。 </div>	
<p>めあて STEP4 「情報を分析して通いやすい進路先ベスト16を選んでみよう</p>		
<p>3 それぞれが情報収集した情報を、通学時間、必要経費の2つの観点で、思考ツールを使って整理・分析した結果をマッピングで報告しあう。</p> <p>4 マッピング結果をみて、それぞれでベスト16を選び、ワークシートに書き込む。</p> <p>5 それぞれの選んだ結果を班で交流しあう。</p> <p>6 「ところで、通いやすさだけで進路を決めるべきだろうか？」という先生の問題提起を受けて、進路を決める上でどんな情報が大切かについて考える。</p> <p>7 ワークシートに振り返りを書く。</p> <p>わかったことと、新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">必要経費</div>  </div> <p style="text-align: center;">通学時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で通いたいと考える学校をどのように 通いやすさより、自分にとって魅力のある学校であるかどうか大切であることに気付かせる。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要経費か通学時間か人によって判断が異なることがわかった。 「通いやすさ」よりも、自分にあった学校かどうか大切さだと思った。 </div>	<p>★②収集した情報を整理・分析し、マップ思考を使つて的確に表現できる。(教師の観察・ワークシート)</p>

10 本時の学習（5時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 行事の企画およびその実現のために必要な準備を見出し、準備の分担を行うことができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP5)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>取り上げる生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「通いやすさ」よりも、自分にあった学校化どうか大切さだと思った。 	
<p>めあて STEP5 『それぞれの進路の魅力を学ぶ会』を企画しよう</p>		
<p>3 会の目的を確認する</p> <p>4 準備しなければならないことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> リサーチする進路先のリストアップ（16高校）をする。 <p>5 役割分担を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会の司会 各校の先生へのおもてなし分担 各校への依頼文作成 <p>6 役割分担ごとに分かれて必要な準備・練習を行う。</p> <p>7 ワークシートに振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> わかったことと、新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 礼節を大切に自分たちの良さを伝える機会にもなることをに気付かせる。 情報収集した内容をしっかり整理するとともに、家族にも伝える機会をもつことで家族と情報を共有することができることへの見通しを持たせる。 「学ぶ会」は4日間、午後の2時間を使って計画することを伝える。 連絡調整は教師が代行することを伝える。 担当の先生が、それぞれに必要な指導を行う。 	
	<p>生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生からたった20分で自分の聞きたい情報が得られるのだろうか？ 	

1 1 本時の学習（6時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 聞くだけでなく、質問を活用してより深く情報を収集する方法を理解する。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP 6)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>取り上げる生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生からたった20分で自分の聞きたい情報が得られるのだろうか？ 	
<p>めあて STEP 6 「情報収集力を高めよう」</p>		
<p>3 話の聞き方、質問の仕方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広南の礼節と進路を真剣に考えている自分たちの姿を伝える。 ○保護者に伝えるためにしっかりメモをとりながら聞く。 ・礼節を意識した聞き方を実践する。 ・メモを散りながら話を聞く。 ・的確な質問を行い、深い情報を引き出す試みをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深い情報を聞き出すためには、質問が大切であるとともに、質問することで意欲を伝えることができることに気付かせる。 ・情報収集のレベルを示し、モチベーションをあげる。 <p>①的確なメモをとる力</p> <p>レベル1 模範となるメモの取り方である。</p> <p>レベル2 レポートを作成する上で、十分なメモがとれている。</p> <p>レベル3 十分とは言えないがしっかり取ろうとしている。</p> <p>レベル4 部分的なメモしかとれていない。</p> <p>②的確な質問力</p> <p>レベル1 新聞記者並みのするどい質問で、深く情報を引き出す質問ができた。</p> <p>レベル2 相手への感謝の気持ちを伝えた後、的確な質問でより深い情報を引き出す質問ができた。</p> <p>レベル3 相手に感謝の気持ちを伝えた後、簡単な質問をすることができた。</p> <p>レベル4 簡単な質問をすることができた。</p>	
<p>4 それぞれの進路先に聞いてみたいことを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけでなく、友達に聞きたいことがないか情報収集するように伝える。 ・時間があれば、質問のやり方を練習させる。 	
<p>5 ワークシートに振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったことと、新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。 	<p>生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の大切さがわかった。当日はがんばって、自分の情報収集能力を高めたとともに、しっかりそれぞれの進路先の良さをより深く理解したい。 	

12 本時の学習（7・8時間目～13・14時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 進学先の情報をより深く収集する能力を実践的に高める。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP7-1～STEP7-16)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>取り上げる生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問の大切さがわかった。当日はがんばって、自分の情報収集能力を高めたとともに、しっかりそれぞれの進路先の良さをより深く理解したい。 	
<p>めあて STEP 7 「進路先の魅力をしっかり聞き出そう！」</p>		
<p>3 校長室から案内係が誘導し、1校目の説明を受ける。</p> <p>4 質問をし、より深い情報を引き出す。</p> <p>5 司会が謝辞を述べる。</p> <p>6 案内係が校長室へ誘導する。</p> <p>7 校長室から別の案内係が誘導し、2校目の説明を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同様のことを4校目まで繰り返す。 <p>8 4校の説明のメモと魅力についてまとめ、ワークシートを提出する。</p> <p>※ 説明会の最後の振り返りは帰りの会を利用して行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集のレベルを示し、モチベーションをあげる。 <p>レベル1 レポートを作成する上で、十分なメモがとれている。</p> <p>レベル2 十分とは言えないがしっかり取ろうとしている。</p> <p>レベル3 部分的なメモしかとれていない。</p> <p>レベル1 的確な質問で、みんなの知りたい深い情報を引き出す質問ができる。</p> <p>レベル2 相手への感謝の気持ちを伝えた後、的確な質問でより深い情報を引き出す質問ができる。</p> <p>レベル3 相手に感謝の気持ちを伝えた後、簡単な質問をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校の説明時間は、質疑応答を含めて20分以内になるよう、事前に連携をとっておく。 ◆ 毎時間のメモのようすを調べ、よりよいメモをとれるように個別に評価と指導を行う。 <p>生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> 何度もやるうちにメモの取り方がわかってきた。これをもとにしっかり、保護者へ伝える原稿をつくりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★①情報を再現するための的確なメモが取りながら話を聞くことができる。（生徒のメモ） ★①情報を引き出すための的確な質問ができる。（教師観察）

13 本時の学習（15時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 情報収集した内容をもとに、相手にわかりやすく伝える内容に整理・分析することができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。 前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う</p> <p>・プリント(STEP8)を取りに行く。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>取り上げる生徒の気づき例</p> <p>・何度もやるうちにメモの取り方がわかってきた。これをもとにしっかり、保護者へ伝える原稿をつくりたい。</p> <p>・今後の見通しを持たせる。</p> <p>・保護者・家族と情報を共有することの大切さを再確認する</p>	
<p>めあて STEP8 「保護者に進路先の魅力を伝える原稿をつくろう！」</p>		
<p>3 担当者と担当校を決め、役割分担をする。</p> <p>4 メモや講師から提供を受けたプレゼン資料をもとに、発表原稿の作成を指導のポイントにそって行う。</p> <p>・プリント(STEP9)を取りに行く。</p> <p>5 聞き取った情報のうち、曖昧な情報を確認するため、学校パンフレットや説明会用プレゼンテーション資料を再読したり、インターネットで調べたりする。</p> <p>6 ワークシートに振り返りを書く。</p> <p>・進捗状況の確認をし、次時に取り組むべき内容を確認する。</p>	<p>・二人一組で担当することとし、必ず、全員が発表に参加するようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><原稿作成の指導のポイント></p> <p>(1)その進路先の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容で伝える。疑問点が生じたらそのままにせず、調べたりしてより正確な情報を収集する。 <p>(2)その進路先ならではの特徴や、魅力を整理し、また、どんな人が向いている学校か、なぜそう思ったかを理由をつけて述べる。</p> <p>(3)自分がその進路先の説明から学んだ内容をまとめる。</p> </div> <p>・原稿をチェックし、助言を通して練り直させる。</p> <p>生徒の気づき例</p> <p>・原稿はできたけど、言葉だけでうまく伝わるか心配だ。プレゼンをつくりたい。</p>	

14 本時の学習（16時間目／全18時間）

（1）本時の目標 プレゼンテーションなどを活用し、伝えたい内容を効果的に伝える方法を工夫することができる。

（2）学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。 ・前時の振り返りの中での気づき（課題発見）を活用し、課題設定を行う。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>取り上げる 生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿はできたけど、言葉だけでうまく伝わるか心配だ。プレゼンをつくりたい。 	
<p>めあて STEP9「発表準備をしよう！」</p>		
<p>3 原稿を完成させる。</p> <p>4 作成した原稿をもとに、高等学校が説明会で用いたパワーポイント等を、自分のプレゼンテーション用に編集しなおす。</p> <p>5 発表の練習と手直しを発表のポイントにそって行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿のチェックを行い、助言をする。 ・発表のポイントにそって活動していることを確認し、抑揚や言葉遣い等を助言する。 <p><発表の方法の指導のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の前に丁寧な礼をすること。 ・発表の前に聴衆を一度見てから話を始めること。 ・声の大きさや、話すスピード、間のとり方に気をつけて、はっきりと伝えるように話すこと。 ・問いかけなどをに入れて話すこと。 ・パワーポイントの映像が効果的に用いられていること。 ・進路先の魅力について詳しく調べていること。 	
<p>6 ワークシートに振り返りを書く。 ・進捗状況の確認をし、次時に取り組むべき内容を確認する。</p>	<p>生徒の気づき例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいプレゼンができたので明日が楽しみだ。自分の紹介する学校の魅力をしっかり伝えたい。 	

15 本時の学習（17時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 自分の伝えたいことをしっかり相手にわかりやすく伝えることができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りの中での気付き（課題発見）を活用し、課題設定を行う。 プリント(STEP10)を取りに行く。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>紹介する生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> よいプレゼンができたので明日が楽しみだ。自分の紹介する学校の魅力をしっかり伝えたい。 	
<p>めあて STEP 10 「保護者の方に進路先の魅力を伝えよう」</p>		
<p>3 それぞれが分担した高校の魅力を、プレゼン等も活用しながら保護者へ伝える。</p> <p>4 お互いの発表を評価シートで相互評価させる。</p> <p>5 ワークシートに振り返りを書く。</p>	<p>◆どうしても覚えきれなかった生徒には、原稿を見ても良いことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現力のレベルを示し、モチベーションをあげる。 <p>レベル1 進路先の魅力を工夫して伝えている レベル2 進路先の魅力ははっきりと伝えている レベル3 進路先の魅力を十分伝えていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の相互評価のレベルを示す。 <p>レベル1 真剣に聞くとともに、他者の発表に肯定的な評価がかかっている レベル2 相手の立場になって真剣に話を聞こうとする態度である。 レベル3 相手の立場になった聞く態度とは言えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の情報と比較させながら発表を聞き、評価するよう助言する。 今日がゴールではなく、今日を機会に、家族で進路情報をしっかり共有しながら進路決定することの必要性を生徒・保護者に伝える。 <p>生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の発表がうまくいったのでほっとしたが、先生が行ったように、今日で終わりではなく、今日から家族と進路情報をしっかり日常的に話して共有してもらいながら、自分の進路選択について相談していきたい。 	<p>★②自分たちが情報収集したことを整理・分析し進路先の魅力を工夫して表現できる。（原稿・評価シート）</p> <p>★④お互いの発表を真剣な態度で聞き、肯定的な評価を行うことができる。（評価シート・教師観察）</p>

16 本時の学習（18時間目／全18時間）

(1) 本時の目標 進路に関する情報収集に対して、主体的な学びの意欲を高め、オープンスクールなどに積極的に参加し、その情報をクラスメートと共有しようとしている。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。 前時の振り返りの中での気付き（課題発見）を活用し、課題設定を行う。</p> <p>・プリント(STEP11)を取りに行く。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>取り上げる生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の発表がうまくいったのでほっとしたが、先生が行ったように、今日で終わりではなく、今日から家族と進路情報をしっかり日常的に話して共有してもらいながら、自分の進路選択について相談していきたい。 </div>	
<p>めあて STEP11 「進路情報はこれだけで十分か？」</p>		
<p>3 今回の単元の最初のワークシートをみて、進路クイズに再度チャレンジする。</p> <p>4 進路先のことについて家族で情報が共有できているかそれぞれ振り返ってみる。</p> <p>5 7月以降、各進路先で開催されるオープンスクール等で得られた情報はどのようにして共有するか話し合う。 (方策を立てる)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成 一分間スピーチ等で報告しあう。 進路通信で保護者にも伝えていく。 <p>6 「課題」として出題する。</p> <p>7 ワークシートに振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ルーブリックでこの単元で身に付いた力を自己評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「百聞は一見にしかず」オープンスクールへ積極的に参加することの大切さを確認する。 参加報告書を配布し、記入上の注意点等をおさえる。 家庭への情報提供は、各家庭で、これからも継続する必要性を伝え、自己評価のレベルを示す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>レベル1 クラスや家族にもしっかり伝えることをした。</p> <p>レベル2 オープンスクールで学んだことを家族と話をしていない。</p> <p>レベル3 報告書の内容が意欲的でない。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 9月から朝の会を利用して報告し合うことを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の気付き例 オープンスクールにはできるだけたくさん参加し、またしっかり報告をすることで「みんなによるみんなのための進路学習」にこれからも取り組んでいきたい。</p> </div>	<p>★③仲間や家族にオープンスクールで学んだことを主体的に報告できる。(報告書・一分間スピーチ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ルーブリックにこの単元で身に付いた力を自己評価する。 生徒の評価に教師の評価を加え、返却する。